

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	香芝市家庭教育支援チーム (呼称:特定非営利活動法人子育て家庭保育看護協会) URL: https://mommys.jp
②活動拠点	香芝市五位堂(特定非営利活動法人子育て家庭保育看護協会 事務所)
③活動範囲	奈良県全域(主に橿原市、香芝市、広陵町、田原本町、大和高田市)
④組織体制	_____ 9人 看護師 2 名、保育士 3 名、多胎ピアサポーター 1 名、 多胎支援バディ 3 名
⑤活動開始年度	令和3年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 特定非営利活動法人子育て家庭保育看護協会 事務局 (TEL) 0745-78-0555 (E-mail) mommysplace3@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(多胎家庭を対象とした通院検診同行支援)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

③活動内容

【具体的な活動内容】

2021年4月 任意団体 Mommy's Place 設立

産前産後の家族がたくさんの笑顔に包まれて子育てできることを目的として、香芝市を拠点に居宅訪問型の家庭支援を開始。



2021年11月 田原本町育児支援ヘルパー派遣事業受託

孤立している家庭や子どもを見逃さず、より包括的な支援を行うため田原本町と連携して、活動地域を広げ居宅訪問型の家庭支援を開始。

2022年4月なら多胎ネット設立

奈良県内には多胎家庭を対象とした支援が少ないことから、多胎家庭に特化した支援の必要性を感じ、設立。

多胎育児を経験したことのある保護者が多胎ピアサポーターとなり、産前産後の多胎家庭に対して、育児の知識や情報を伝えるネットワーク作りを目的としている。

また、多胎育児を経験した保護者を対象に、多胎ピアサポーターの養成も行っている。

2022年6月 多胎サークル定期開催(田原本町すこやかひろばにて)

多胎家庭が交流を図る環境作りを目的として、多胎サークルを開始。多胎ピアサポーターがファシリテーターとなり、育児の情報交換を行っている。悩みの解消や、育児への負担感の軽減をねらいとしている。月に1回の定期開催を行っている。



2022年6月香芝市まちづくり提案活動支援事業開始(2023年3月末まで)
地域での多世代交流の場、地域の居場所作りを目的として、香芝市まちづくり提案活動支援事業の一環として令和4年度に計8回のイベントを開催した。多世代の方に子育て支援の現状や課題を伝えることで、地域で子育てを見守る風土作りのきっかけとなることをねらいとしている。



2022年10月香芝市まちづくり提案活動支援追加事業開始(2023年3月末まで)

気軽に相談出来る環境づくりを目的として、無料のオンライン相談「まみーず CHAT」を開始。相談場所へ出向かなくても、自宅から気軽にオンラインを使って相談することで、育児への不安の解消につながることをねらいとしている。



2023年7月河合町子育て世帯訪問支援事業受託

2023年8月学校法人西大和学園白鳳短期大学にて「地域母子保健」特別講義
看護学専攻の学生約100名の皆さんに、看護師として栄養士として、そして認定産後ドゥーラとして何をしているか、実際に課題について講義を行う。



2023 年 9 月聖バルナバ助産師学院にて「地域母子保健」特別講義を行う。

2023 年 12 月法人手続きが完了し、「特定非営利活動法人子育て家庭保育看護協会」設立。

孤立している家庭や子供を見逃さず、より包括的な支援を行い、積極的な活動を進めていくためには、行政・医療機関・教育機関との連携が重要であることから、法人格を取得。現代の多種多様な課題を抱える子育て家庭が、よりよい子育て環境の中で育児できる社会になるよう貢献していく。

④活動の成果
(活動実績がある場合)

- ・居宅訪問型の家庭支援での成果
二人目を出産後の母親からは、支援を受けている間に、上の子と二人の時間を過ごすことが出来たのが良かったという意見や、帝王切開の傷が痛み家事が大変だったが支援を受けて負担が軽くなったという意見があった。悩みの解消や育児負担の軽減といった成果があった。
- ・多胎サークルでの成果
多胎家庭は、母親一人での外出が困難な為、家に引きこもりがちな家庭も多いが、サークル活動をきっかけに外出してみようと前向きな気持ちになれたという意見があった。また、同じ多胎育児の保護者同士で育児の悩みを相談することができ、良い機会だったという意見があった。多胎家庭が集える環境を整備することで、育児への悩みの解消などの成果があった。
- ・香芝市まちづくり提案活動支援追加事業での成果
親子で参加した保護者から、普段は仕事で子どもと一緒に料理をしたり工作をしたりする余裕がないので、よい機会となったという意見があった。地域の居場所づくりを行うことで、多世代が交流する場を提供することができ、また、親子間ではコミュニケーションが深まるなどの成果があった。

⑤活動財源
(複数チェック可能)

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:産後ケア事業アウトリーチ型)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
(近畿ろうきん NPO アワード)